

栗 Station

~ a ticket for agriculture ~

長野県上高井郡小布施町

小布施町は長野盆地の北東に位置する、農業と文化のまちである。
町の西部を千曲川が南東に貫き、南部を松川、北部を篠ノ井川が東西に流れ、東部には雁田山がそびえており、自然恵まれた地形である。
半径2kmに全戸が入るといふ小さな町である。



面積:19.07km²
人口:11806人



①周囲の町並みに合わせている銀行

②中心的位置にある小布施堂

③高井鴻山記念館

農業

地形が農業にとっても適しているため、古くから米、りんご、ぶどうなどが栽培されていた。現在小布施の代名詞となっている栗も、古くに弘法大師が伝えたといわれている。農家率は50%を超えていた。
江戸時代には、農業と舟運が発達した影響で市が定期的に行われるようになり、多くの人を訪れた。この市は現在も毎年お正月の恒例行事になっている。

文化

市が開かれたことによって、葛飾北斎、小林一茶など多くの文化人がまちを訪れ、また滞在し文化を広めた。そのため、高井鴻山をはじめとする多くの地元出身の文化人を生み出したのである。現在小布施町には、彼らの記念館や美術館等が、この規模のまちでは珍しいほど、数多く存在する。



葛飾北斎の絵がマンホールのデザインになっている

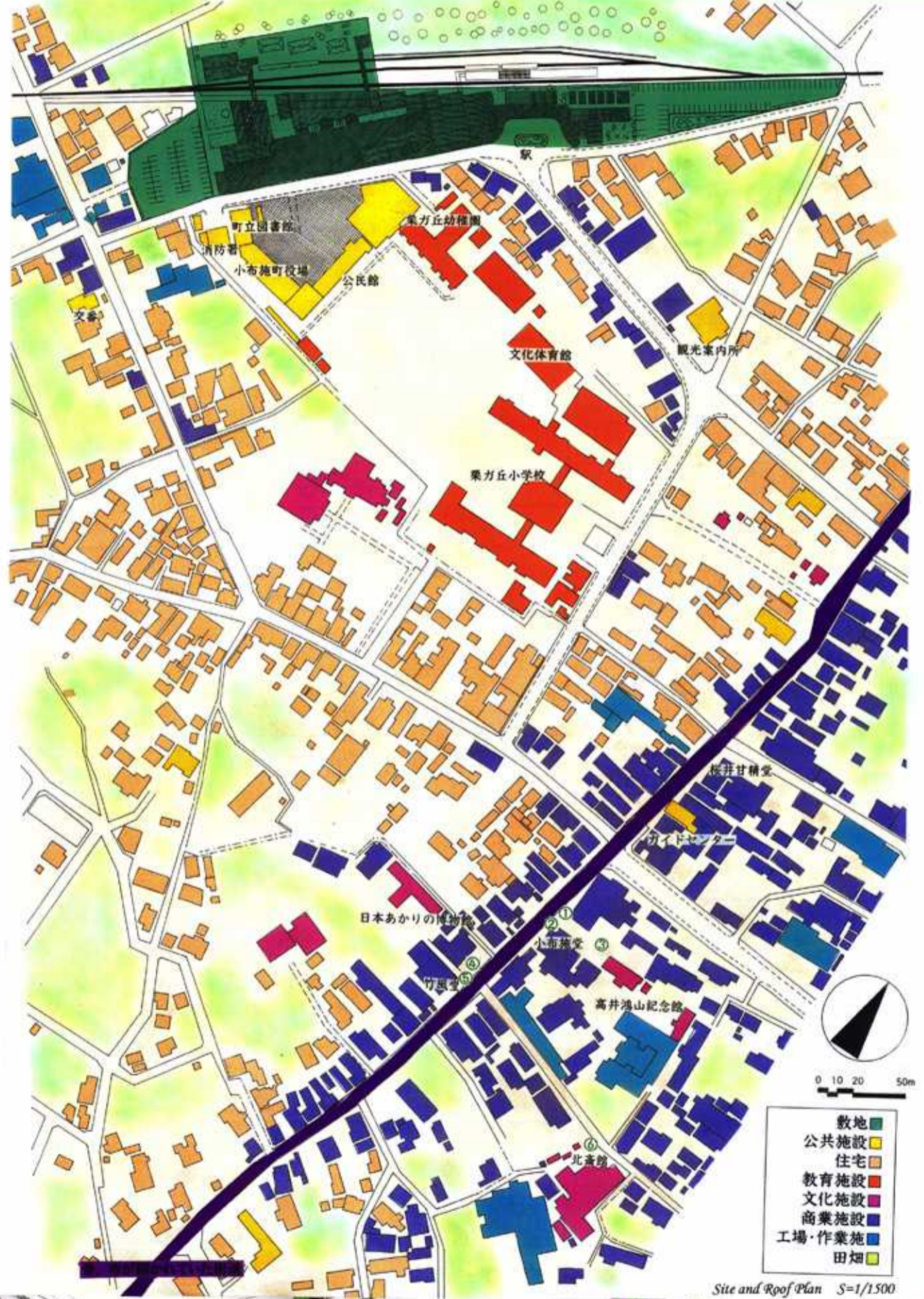
町中に紙芝居が点在している

観光

- 農業と文化により年間12万人の観光客が訪れる、全国に数ある小京都と呼ばれる観光地の一つとなっている。
- 低層の瓦屋根の建物が美しく続く町並み。
- 住民参加のまちづくりを行っていることでも有名なまちである。

問題点

- 農業者の減少。
- 現在の完成しつつある小布施町の姿ばかりが先行してしまい、これまでに多くの偉人が小布施町のために様々な活動をしてきた過程を知る人が少ない。
- 観光地の顔としては寂しすぎる駅前である。
- 駅利用者の減少。



Site and Roof Plan S=1/1500



④日本あかりの博物館

⑤竹風堂

⑥まちづくりのきっかけとなった北斎館

敷地 小布施町 長野電鉄小布施駅

現在の長野電鉄小布施駅とその周辺を含めた、約21500m²を敷地とする。

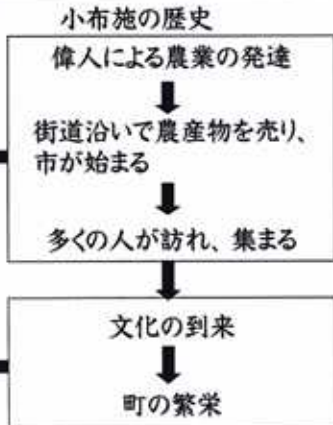
この駅は、道路を挟んだ向かいには役場、図書館、消防署が建ち、裏には畑が広がっている。
昔は市が開かれ、現在は小布施町の顔である街道までは徒歩で8分と、少し離れた位置関係にある。

コンセプト

博物館 小布施町が農業で大きくなったという歴史的事実から

農業を知る

- あまり観光客の人々には知られていない歴史である。よって小布施の歴史から、また偉人から農業の歴史を伝える。
- 地域住民には自分のまちを学ぶ場であり、また発表の場ともなる。
- ほとんどの人が知っている。
- 現在の観光の見所となっている。

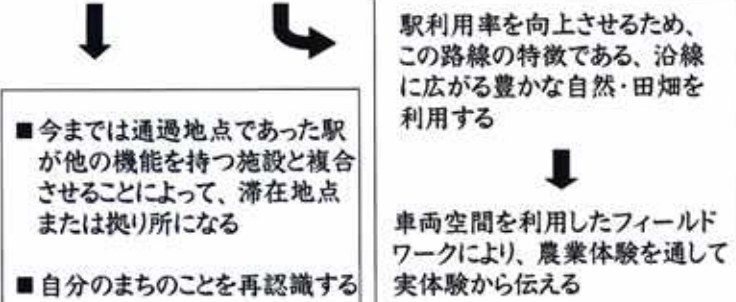


博物館、農機具展示室の様子

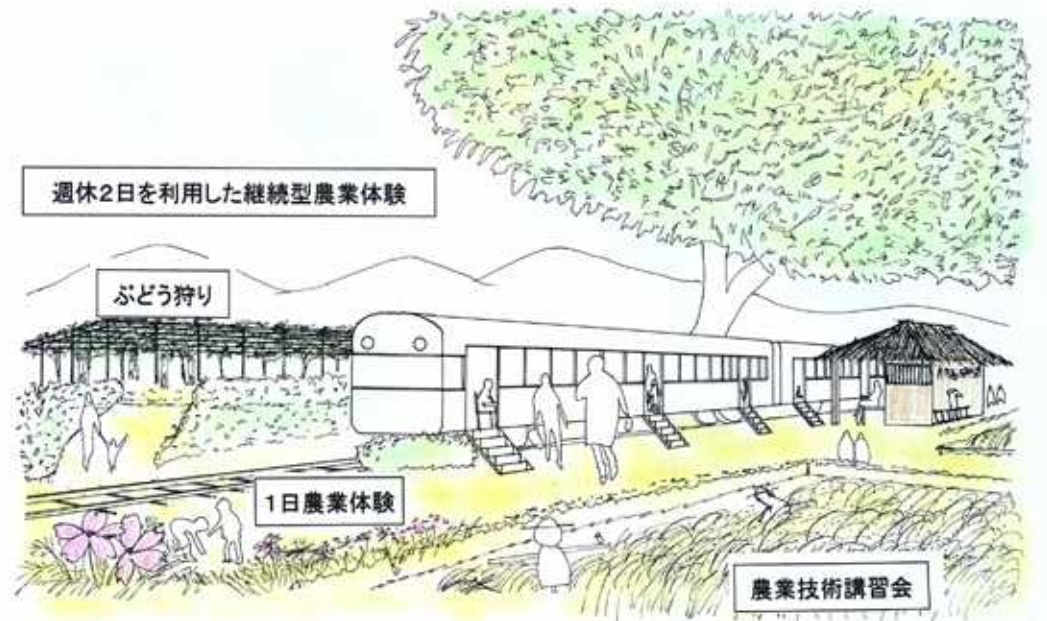
駅 農業の大切さを多くの人々に伝え

農業を体験する

地域住民のほかに観光客という不特定多数の人々が利用する



- 今までは通過地点であった駅が他の機能を持つ施設と複合させることによって、滞在地点または拠り所になる
- 自分のまちのことを再認識する



週休2日を利用した継続型農業体験

ぶどう狩り

1日農業体験

農業技術講習会

JA(農協) 減少しつつある農業人口の増加を目指す

農業へ勧誘する

小布施町の農業人口推移

	世帯数	農家数	農家率	農家人口
昭和50年	2465	1275	51.7%	58.1%
平成12年	3217	976	30.3%	36.8%

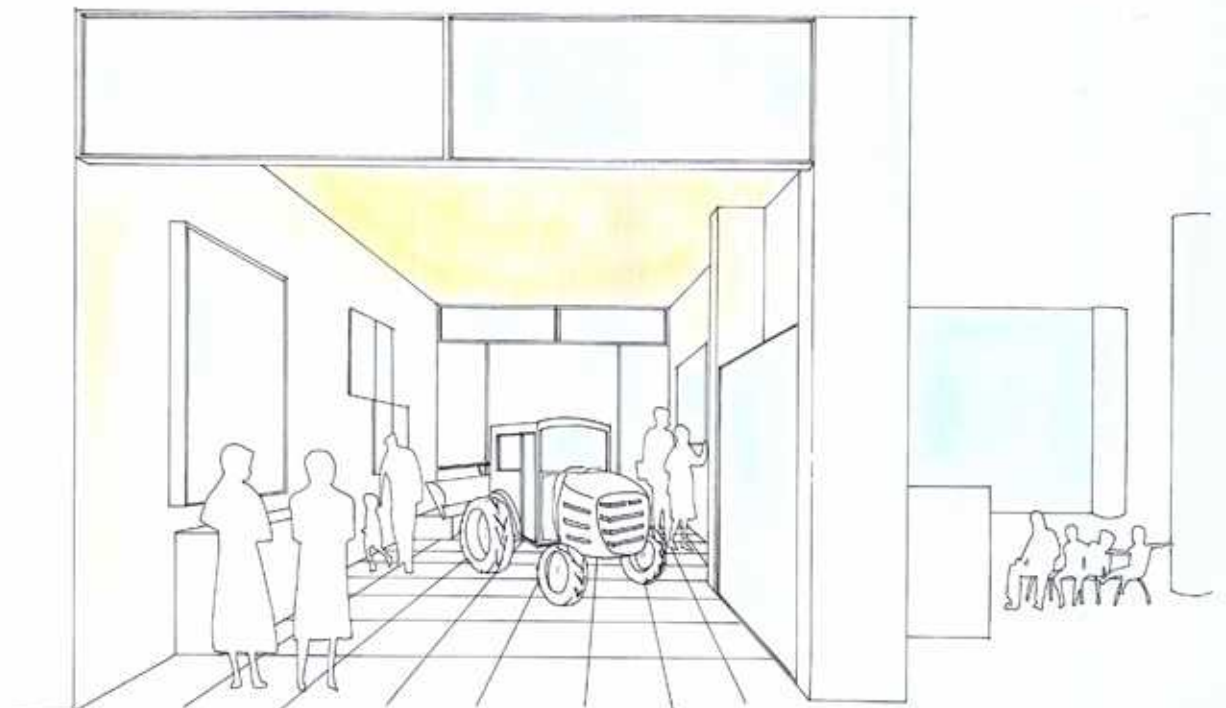
全国的に問題となっている農業人口の減少、農業における後継者不足は、農業によって支えられてきた小布施町でも例外ではない。そこでもともとこの敷地にあり、農業推進に力を注ぐJAが地域住民、観光客(農業体験者)の両方を様々な面からバックアップし、また農業へ勧誘する。

農作業の様子

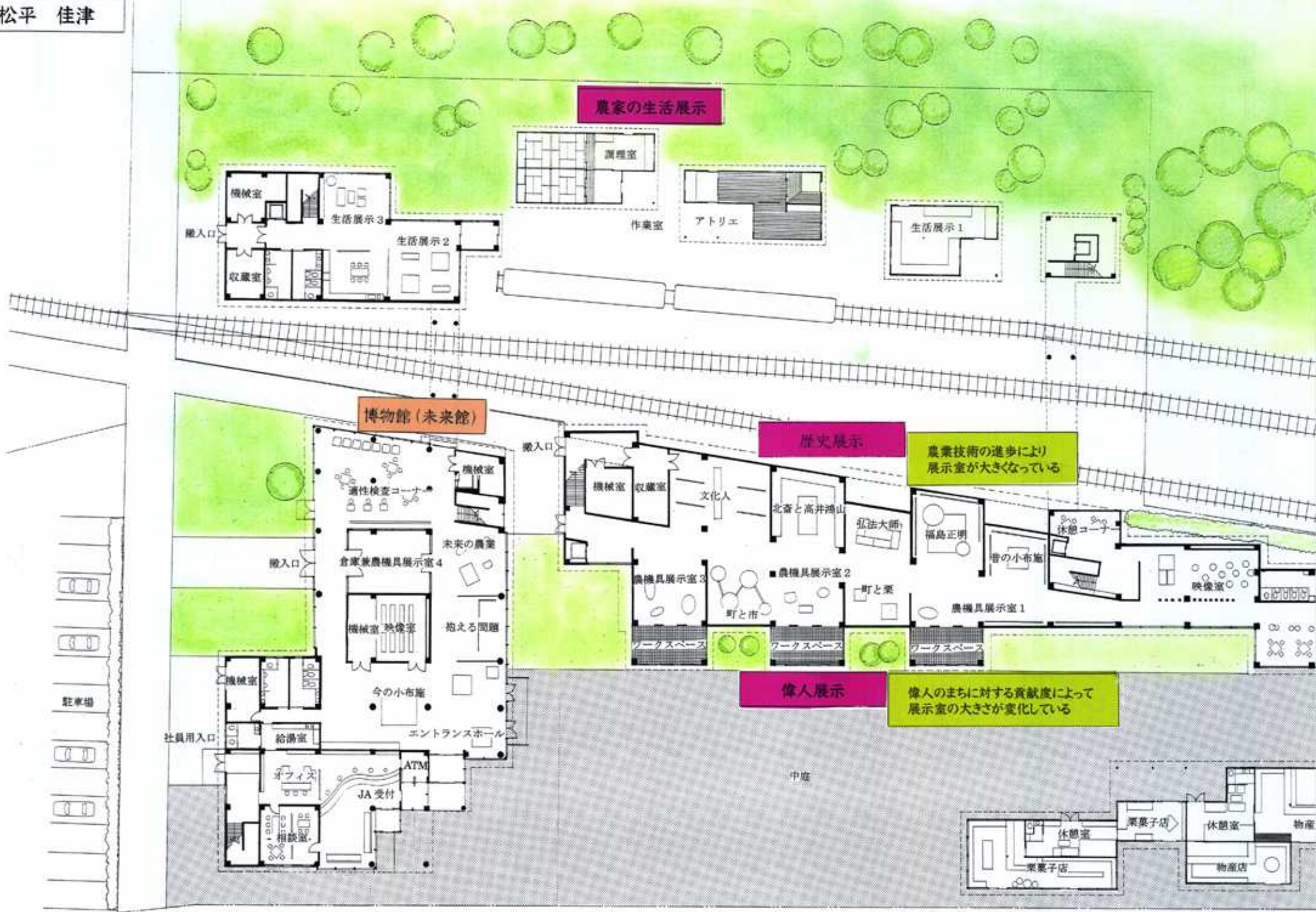
- ex.
- 完全週休2日を利用した、農業体験教室の開催
 - 子供たちへ農業を伝え、関心を持たせる
 - 農業をしようと思っているが、道具がない人への備品・工具のレンタルや技術指導
 - 更なる農業発展のための研究開発

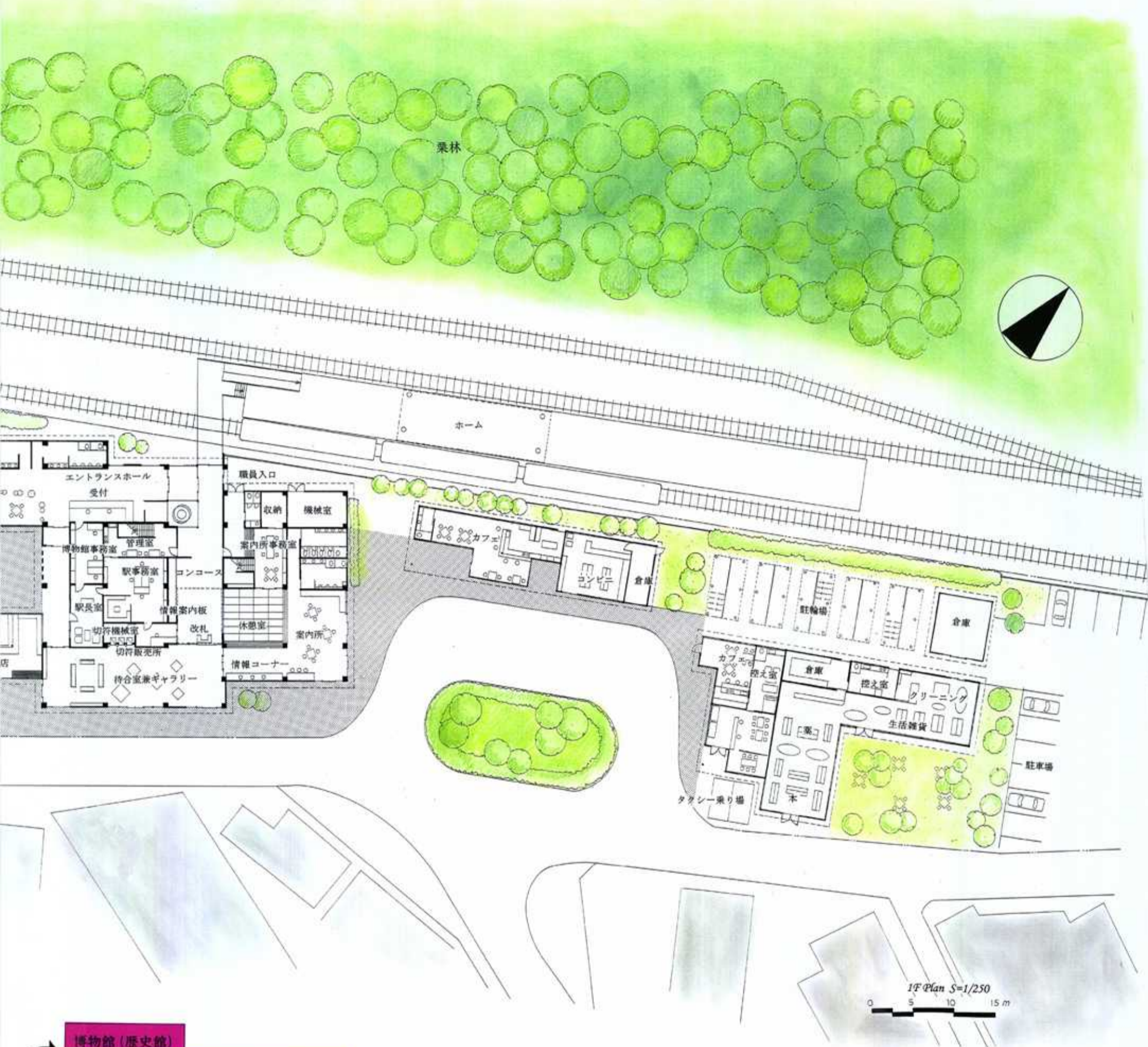


駅、改札口から博物館入り口を見る



JA、倉庫兼展示室の様子





1F Plan S=1/250
0 5 10 15 m

- 博物館 (歴史館)**
現在の小布施町ができるまでの歴史、農業の歴史を学ぼう!
- 博物館 (未来館)**
これからの小布施町の歴史を一緒につくろう! 農業をしよう!



2F Plan S=1/250
0 5 10 15 m



3F Plan S=1/250
0 5 10 15 m

農業駅広場

裏に広がる栗畑と、復元した民家、使用されなくなった汽車を利用して農業を体験することができる。町内のあちこちの田畑でも農業体験ができる。

博物館・JA

通常のJAの機能と生涯学習などの住民施設、発表の場でもある博物館などの複合施設。

中庭

土産・特産物店

駅

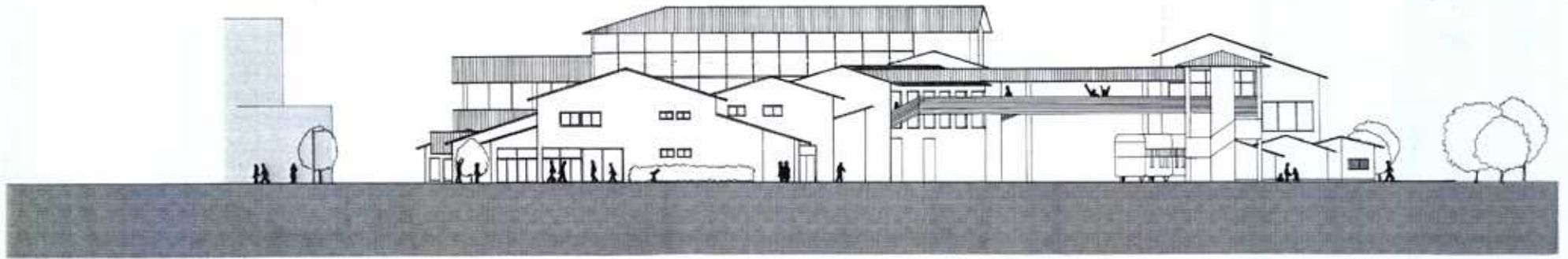
電車利用
町民に
電車利用
無料とす

広場

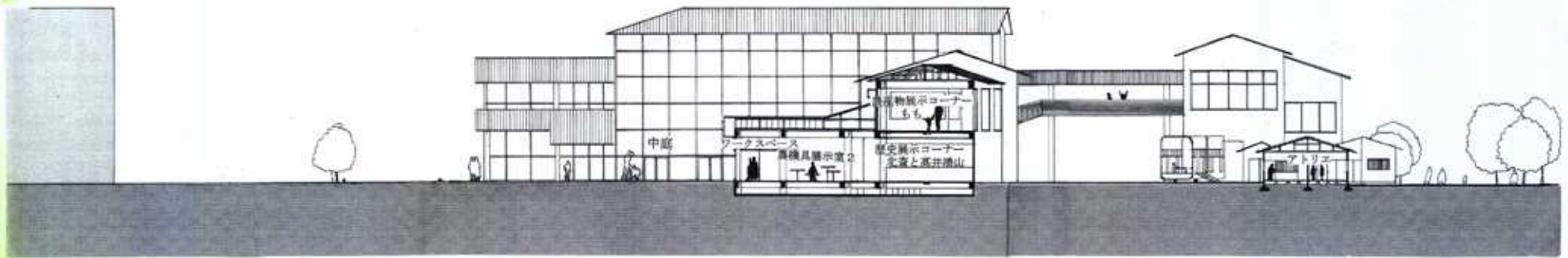


栗の木のブロックを地面に敷きつめ、中庭と道を挟んで向かい側にある町役場の駐車場とを連続させ、広場とする。

休日には特産物の野菜や果物、工芸品の露店、フリーマーケットなど、様々なイベントが開催される。



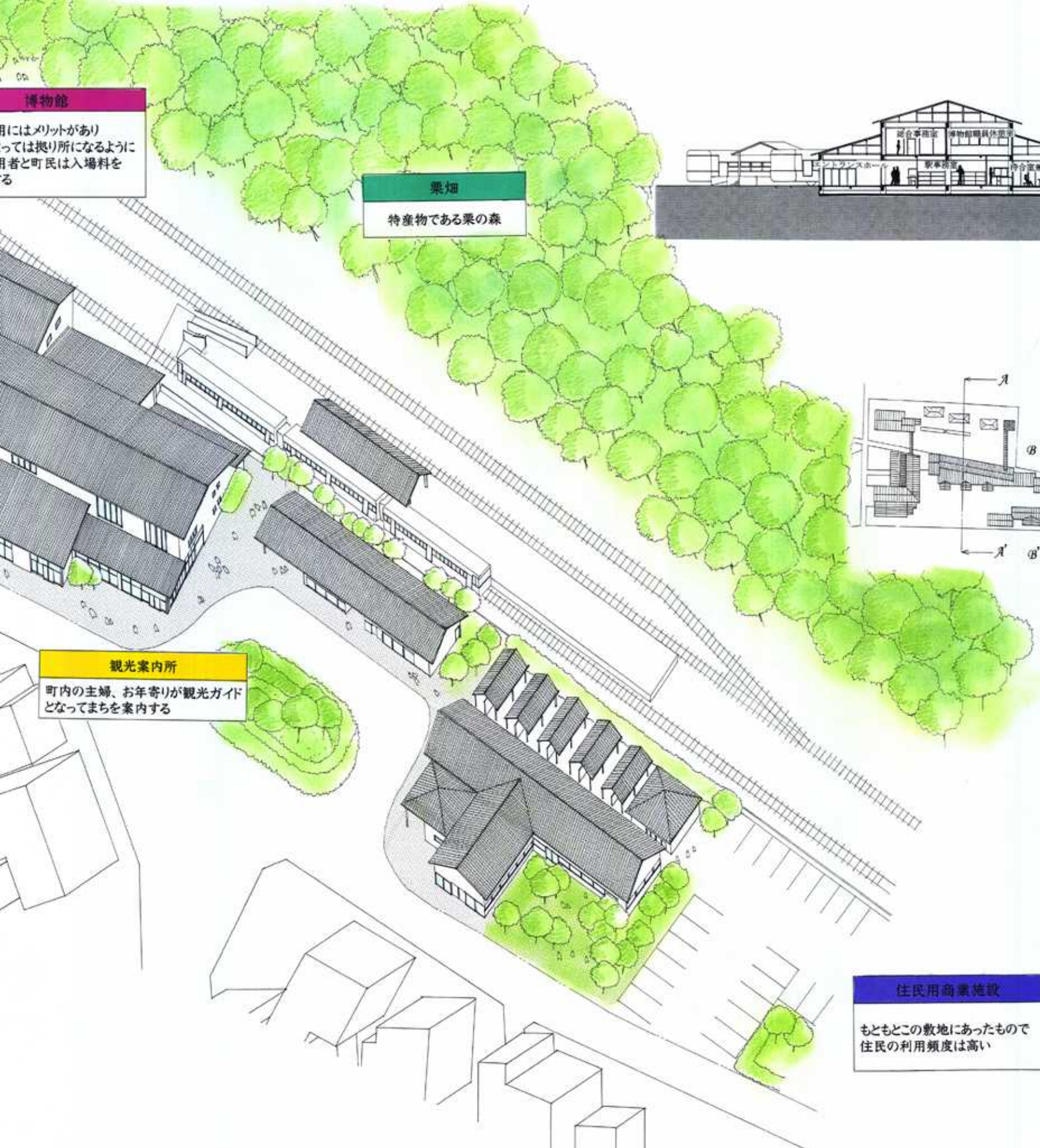
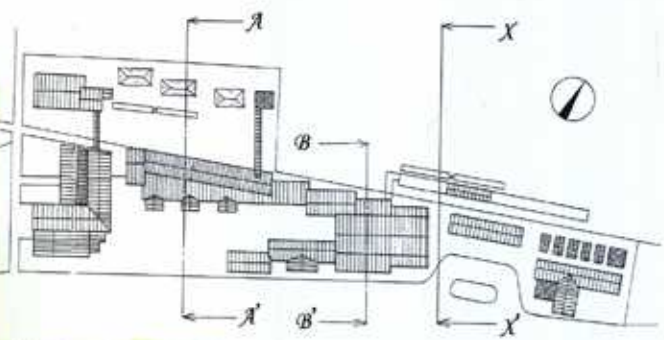
X-X' Elevation S=1/250



A-A' Section S=1/250



B-B' Section S=1/250



博物館
 用にはメリットがあり
 っては拠り所になるように
 用者と町民は入場料を
 する

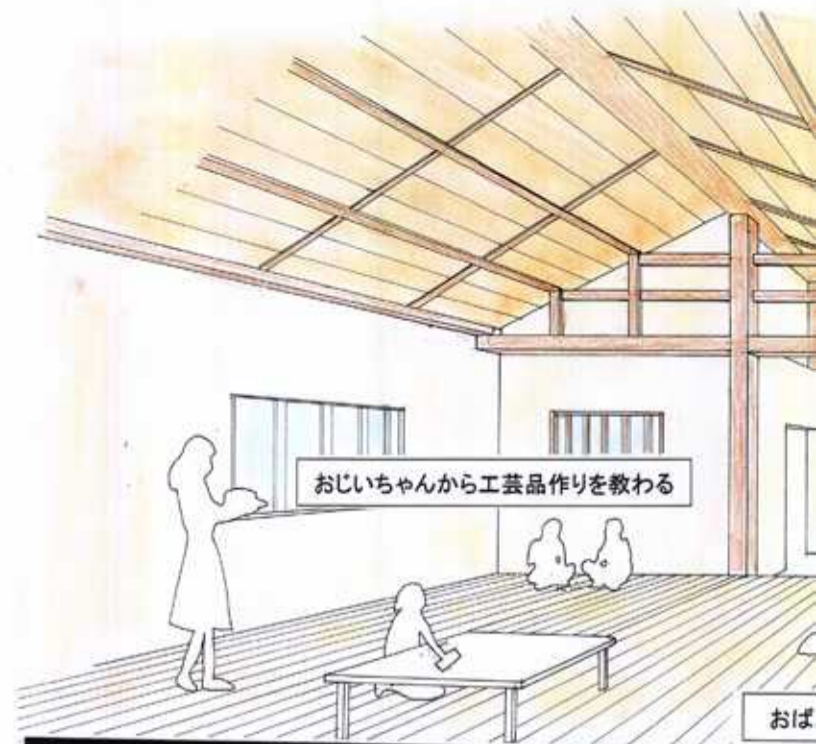
栗畑
 特産物である栗の森

観光案内所
 町内の主婦、お年寄りが観光ガイド
 となってまちを案内する

住民用商業施設
 もともとこの敷地にあったもので
 住民の利用頻度は高い

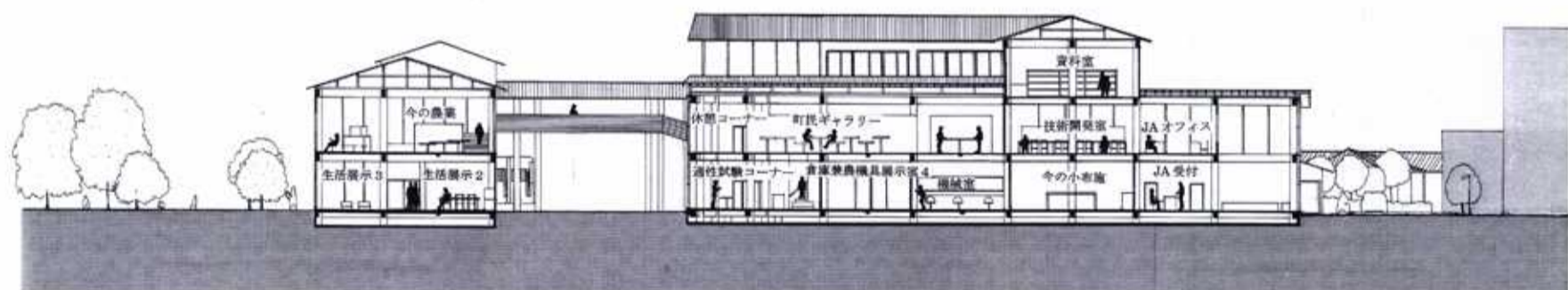


長野電鉄線 長野駅方面からの車窓から見える外観

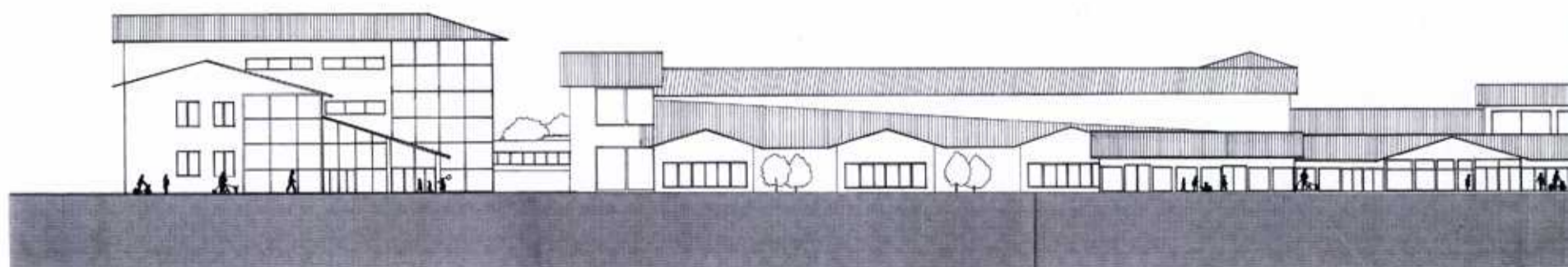
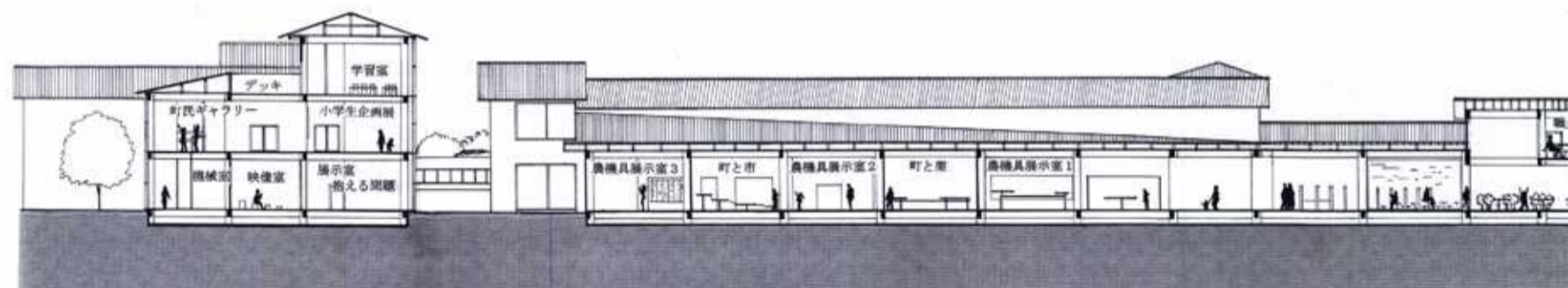


復元した民家の様子

昔の農家の人の生活を体験することができる
また町内の田畑で収穫した野菜を調理し、味わうことができる

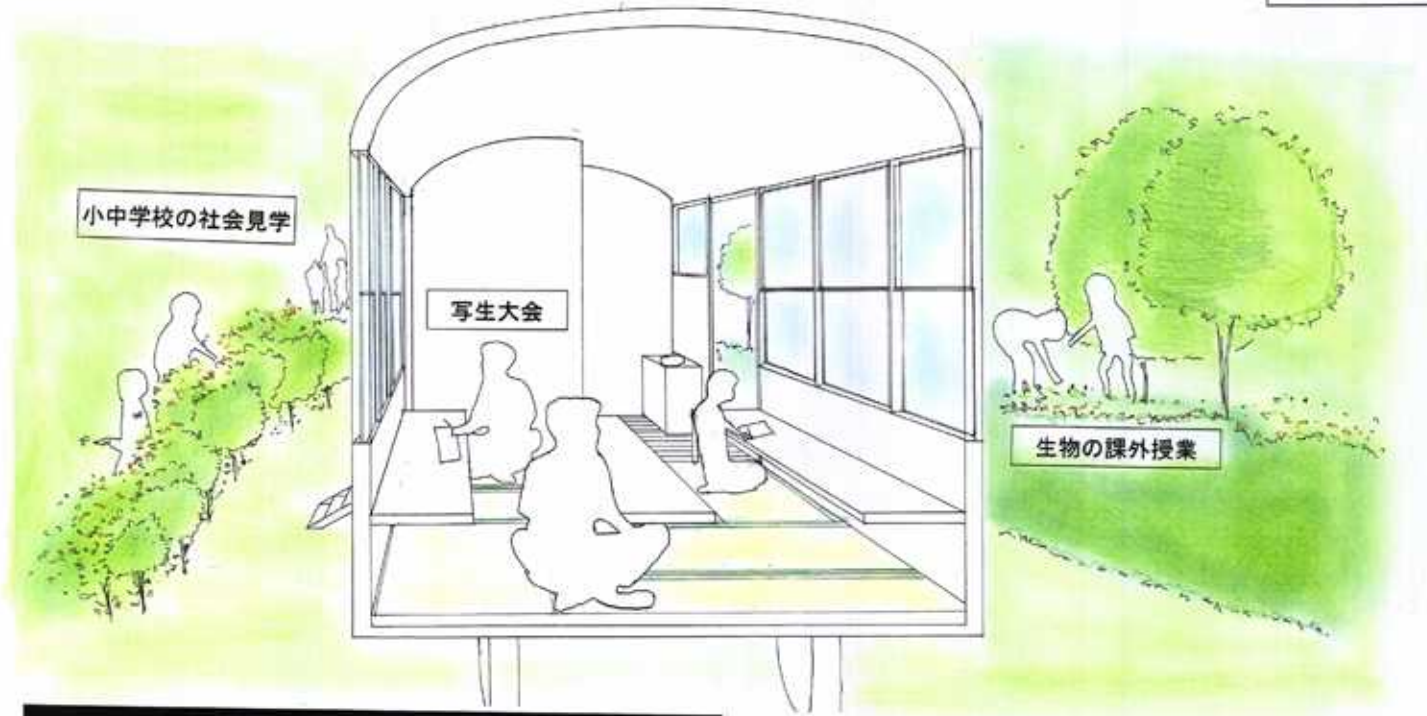


C-C' Section S=1/250





あちゃんから郷土料理を教わる



小中学校の社会見学

写生大会

生物の課外授業

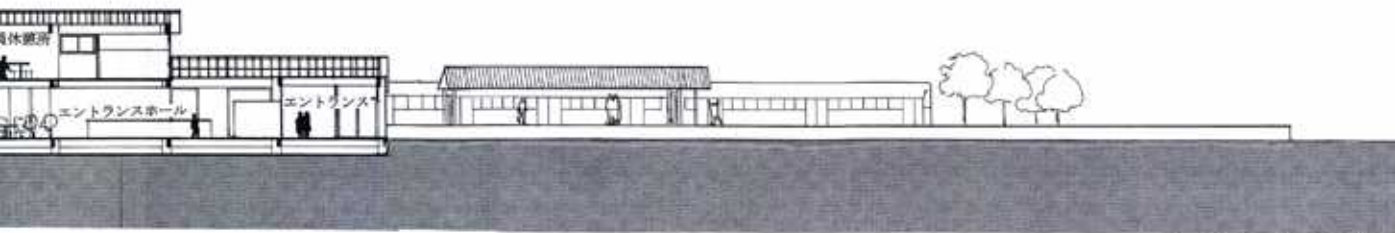
廃車を利用したアトリエの様子

現在、小布施駅に展示してある廃車車両をアトリエとして
また小中学生の課外授業の教室として利用することができる

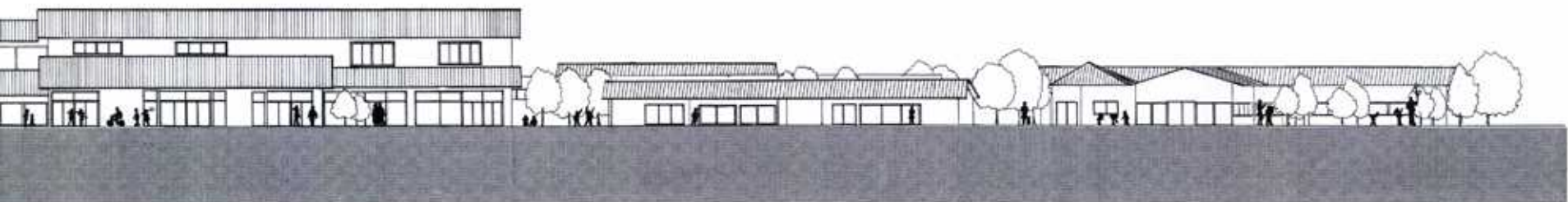
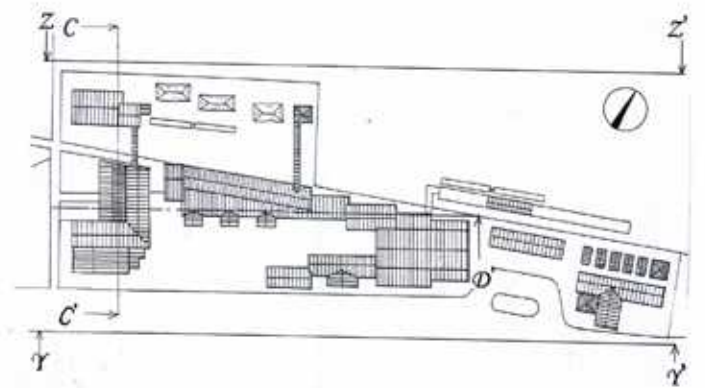


駅前通りから見た外観

景観を重視し、美しい町並み作りを目指すまちの方針に合わせ
低層で屋根は切妻を基本とする瓦の勾配屋根とする



D-D' Section S=1/250



Y-Y' Elevation S=1/250



Z-Z' Elevation S=1/250

